

自然の中で気をつけたい！子どもを守る「危険な虫・植物」一覧（保育・家庭向け）

外あそびや散歩、園芸活動など、自然の中で子どもたちが過ごす機会はとても貴重です。

でもその中には、毒や危険のある虫や植物が潜んでいることも。

この資料では、保育者や保護者の方向けに、子どもが誤って触れたり口にしないように注意したい虫・植物を一覧にまとめました。

危険な虫 一覧

虫の名前	発見場所例	特徴・毒性など	大きさの目安（子ども基準）
セアカゴケグモ	ベンチの裏・すき間	背中に赤い模様。毒を持つクモ	小指の先くらい
ヒアリ	公園の地面・巣	攻撃的なアリ。刺されると激痛	ごま粒～小豆くらい
キイロスズメバチ	木・屋根裏	非常に攻撃的。毒針に注意	小指～人さし指くらい
マダニ	草むら・藪	吸血性の寄生虫。感染症リスクあり	ごま粒程度
ムカデ（大型）	石の下・湿気のある場所	毒顎でかまれる。大型で恐怖感あり	手のひら～15cm ほど
ヒロヘリアオイラガ幼虫	葉の裏	トゲのような毒針で刺される	小指の長さくらい
ヨコヅナサシガメ	木の幹・壁など	強い痛みをともなう刺し攻撃	指2本分くらい
その他（スズメバチ、サシガメ類など）も多数			

注意が必要な植物 一覧

植物名	咲く時期	見かけやすい場所	注意点・毒性
スイセン	1～4月	公園・花壇	葉や球根に強い毒あり。ニラに似て誤食例多数
スノーフレーク	3～5月	花壇・家庭の庭	球根や葉に毒。スイセンとの混同も
アジサイ	6～7月	園庭・街角	葉や花の汁に中毒性
キョウチクトウ	6～10月	学校・街路樹	花・葉・枝・根すべてが猛毒。煙も有害
ホウセンカ	6～9月	園芸・花壇	種や汁でかぶれることがある
ドクゼリ	4～7月	川辺・野草地	日本三大有毒植物の一つ。セリと誤認注意
トリカブト	8～10月	山・公園の植え込み	見た目が美しいが全草猛毒
ジギタリス	5～7月	園芸・花壇	心臓に作用する強い毒性

ワンポイントアドバイス（虫・植物共通）

- 「これは見ても OK、でも触っちゃダメ」と子どもと一緒にルールを作ると効果的です。
- 園庭や家庭の植え込みに有毒植物が含まれていないか定期的に確認を。
- 見たことがない虫・植物は、必ず大人に知らせるよう指導しましょう。
- 万が一刺された・食べた・触った場合は、早めの医療機関受診が安心です。

ご自由にお使いください！

この PDF は印刷・配布・掲示 OK です。

園内の安全確認や職員研修、保護者連絡のおたよりにもぜひご活用ください。

作成：保育士「しの」のブログ（<https://hoikusinoblog.com>）